

集中治療部における平均在院日数の推移

項目の解説

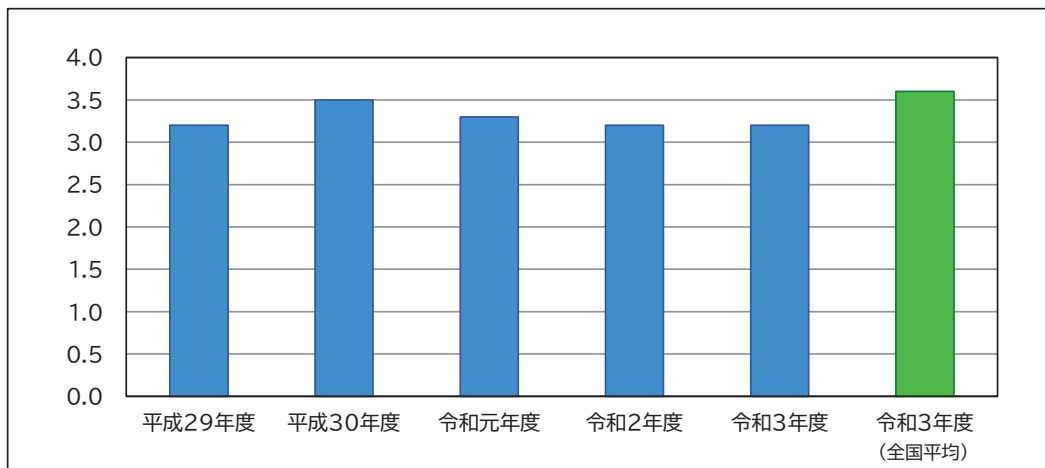
集中治療部(ICU)の在室日数は、ICUの臨床指標の一つですが、入室患者の重症度、提供する医療の質および効率的な運用によって決まります。ICU在室日数は、ICUでの死亡のリスクと関連することが知られています。

当院のICUでは、臓器移植を含む術後患者に加えて、内科・外科の重症患者の治療も行っていますが、「集中治療部における平均在室日数」は、全国平均以下で推移しています。

当院の実績

九州大学病院					全国平均
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度
3.2	3.5	3.3	3.2	3.2	3.6

(単位：日)



*「全国平均」は、国立大学病院の平均値(四捨五入)を示します。

定義

各年度の集中治療部における平均在院日数です。以下の式で算出します。
平均在院日数＝「在院患者延数」÷((「新入院患者数」+「退院患者数」)÷2)



九州大学病院

KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

集中治療部における死亡率の推移

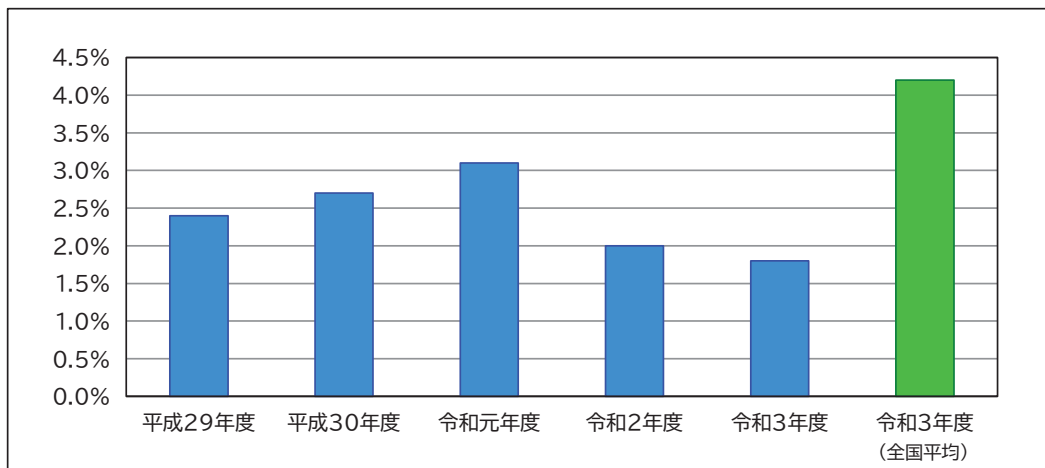
項目の解説

集中治療部(ICU)における死亡率は、ICUの重症度とチーム医療の質を表す指標の一つです。

当院のICUでは重症患者に対して高度医療を提供していますが、「集中治療部における死亡率」は、全国平均と比較しても低く推移しています。これは、当院の医療の質の高さに加えて、終末期となった患者に対して患者のQOLに配慮し、一般病棟と連携したケアを提供していることを反映しています。

当院の実績

九州大学病院					全国平均
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度
2.4%	2.7%	3.1%	2.0%	1.8%	4.2%



* 「全国平均」は、「日本集中治療医学会の年次レポート」を使用しています。

定義

各年度の集中治療部(ICU)における死亡率です。以下の式で算出します。
死亡率 = 「ICUで死亡した患者数」÷「ICUから転棟または退院した患者数」



九州大学病院

KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL